

BT290 シリーズ 高出力ファイバーレーザー溶接ヘッド

定格パワー 20KW

概要

BW290 シリーズは、2017 年にスイスの RAYTOOLS AG 社によって導入された 20 KW のファイバーレーザー/半導体レーザー溶接ヘッドです。86 mm の開口径により、迷光干渉を効率的に回避できます。BW290 は、汎用性が高く、様々なインターフェイスやレンズ、ノズルは互換性に富んでいます。

特長

- コリメートレンズと集光レンズのカバーガラスは、すべてカートリッジレンズホルダーに取り付けられているので、すばやく簡単に切り替え可能
- コリメーターに埃が落下してレンズが損傷するのを防ぐため、追加のカバーガラス付
- 溶接シームの位置決めを監視・調整用の CCD マシンビジョン構成 (オプション)
- コリメーションレンズと集光レンズはそれぞれ水冷式で、レーザーヘッドの寿命を延ばす
- オプティクスの最適化と溶接品質の向上に複合レンズを使用
- あらゆる種類の半導体レーザーに適した複数のファイバーインターフェイス (QBH, QD) を装備
- スパッタリングを低減し、溶接継手を保護するために、内輪の空冷およびサイドブローを備えた同軸ノズルアセンブリ



仕様

定格パワー	ファイバーレーザー/半導体レーザー ≤ 20 KW	-集光レンズ側	φ 80 × 4 mm
開口径	86 mm	アシストガス圧力 (推奨)	
コリメーター焦点距離	150 mm, 200mm, 250mm, 300mm	-エアナイフ	≤ 8 bar
集光レンズ焦点距離	150mm, 200mm, 300mm, 400mm	-保護空気	10~25 L/分
カバーガラス	φ 80 × 2 mm	CCD	TYPE-C, TYPE-CS
-コリメーターレンズ側	φ 50 × 2 mm	重量	~12 kg (CCD 付時)
		アクセサリ	
		シーム追跡システム	ロボットによる自動シーム 追跡の実現

図面

